

訂 正

泌尿紀要 45 : 521-526, 1999

フルタミド投与患者の肝障害の予測  
—多変量解析によるリスクファクターの検討—

富士市立中央病院泌尿器科（部長：上田正山）  
和田 鉄郎, 上田 正山, 阿部 和弘

慈恵医大第三病院泌尿器科（部長：山崎春樹）  
小針 俊彦, 山崎 春樹

慈恵医大柏病院泌尿器科（部長：仲田浄治郎）  
仲 田 浄 治 郎

東京慈恵会医科大学泌尿器科学教室（主任：大石幸彦教授）  
池本 庸, 大石 幸彦

東京慈恵会医科大学内科学第一教室  
相 沢 良 夫

訂 正

524頁 本文左中～右上

【訂正前】

Logistic model による多変量解析の結果では、全項目をカテゴリー変数とした検討結果で“投与前の ALT 高値”および“肝障害の既往”が有意に高リスクとなることが確認された ( $p < 0.05$ ) (Table 3). また、STEPWISE 法および SCORE 法を用いて変数を選択した結果、“投与前の ALT 高値”“肝障害の既往”“喫煙歴あり”“BMI”“飲酒歴あり”の 5 項目を選択して解析した場合に相関が最も強く認められた (Table 4).

【訂正後】

Logistic model による多変量解析の結果では、全項目をカテゴリー変数とした検討結果は Table 3 のごとくであった。また、STEPWISE 法および SCORE 法による変数選択を参考にし、Table 4 に示した 5 項目（連続値）で解析を行った結果、“投与前の ALT 高値”“肝障害の既往”“喫煙歴あり”“ALT/AST 比”に有意差 ( $p < 0.05$ ) を認めた。

和田 鉄郎